

日本医療安全学会機関誌

医療と安全

No.0008 (8号)

目次

日本医療安全学会の趣旨、定款	p.3
第5回日本医療安全学会学術総会の開催通知	p.4
【原著論文】病棟専任薬剤師と医薬品安全管理責任者の連携による入院患者における自己管理薬のインシデント対策 - 薬剤師による内服管理アセスメントシートの作成と有用性の評価 -	p.5
赤城那奈 ¹ , 大谷道輝 ² , 松元美香 ² , 並木路広 ¹ , 山村喜一 ¹	
1: 千代田区富士見2-14-23 東京通信病院薬剤部	
2: 千代田区神田駿河台18 杏雲堂病院薬剤科	
【原著論文】看護師の注射業務に関するインシデント事象の分析	p.14
是枝孝子 ¹ , 八代利香 ²	
1: 元鹿児島大学大学院保健学専攻博士前期課程	
2: 鹿児島大学医学部保健学科看護学専攻総合基礎看護学講座	
【理事就任挨拶】	p.26
小林弘幸 ^{1, 2}	
1: 順天堂大学医学部病院管理学研究室 教授	
2: 順天堂大学医学部附属順天堂医院 医療安全推進部 部長	
編集後記	p.29
理事名簿	p.30
代議員名簿	p.32
委員会	p.33
分科会一覧	p.34
医療安全基本用語集	p.35
2018定例理事会議事録	p.40
2018代議員大会議事録	p.41
平成29年度事業報告書	p.42
刊行の趣旨、編集の方針、投稿規定、執筆要綱	p.46
医療リスクと患者安全のための一般市民向けのニュースレター	p.51
学会認定の「高度医療安全管理者」資格制度	p.52
学会認定の「高度医薬品安全管理者」資格制度	p.54
学会認定の「高度看護安全管理者」資格制度	p.56

日本医療安全学会の予定	p.58
編集委員会	p.59
学会活動の概要と年会費支払方法について	p.60
届け出用紙	p.62__

日本医療安全学会の趣旨、定款

医療安全に関する医療業務には、医科医療安全、歯科医療安全、医薬品安全、医療機器安全、看護安全など多岐にわたり、医療現場はそれらの協同作業で展開される。また、関連分野としてリスクマネジメント、品質管理、ヒューマンファクターと安全工学、リスクコミュニケーション、臨床コーチング、法行政学、医療経済学、医療経営学、情報科学、行動科学、認知科学、疫学・統計など多種多様の専門分野も存在する。

本学会の目的は、これらの膨大な複合領域の観点から、医療安全文化の向上を図り、患者中心の医療を充実させることにある。

2017年 1月

日本医療安全学会

定款の変更

2017年 1月 25日に開催された社員総会において、定款変更が決議されました。

新たな定款は以下を参照ください。

<http://www.jpscs.org/JPSCSrule02.pdf>

学術総会の開催通知

第5回日本医療安全学会学術総会

<http://jpscscs.org/5thJPSCS/>

テーマ: 地域に根差した医療安全文化の醸成

会期: 2019年2月9日(土)~10日(日)

会場: 東京大学本郷キャンパス

東京都文京区本郷7-3-1、地下鉄丸ノ内線徒歩10分

総会共同会長:

松村 由美 (京都大学附属病院医療安全管理部部長、同教授)

岡田 有策 (慶應義塾大学理工学部管理工学科ヒューマンファクター研究室教授)

衣川 さえ子 (東京医療保健大学東が丘・立川看護学部母性看護学教授)

対象者: 日本医療安全学会の学会員、その他

一般演題申込の期間: 2018年7月1日 ~2018年9月15日

討議の主たる課題: 医科医療安全、臨床医学安全、歯科医療安全、医薬品安全、医療機器安全、看護安全、臨床リスクアセスメント、臨床リスクマネージメント、臨床リスクコミュニケーション、臨床リスクガバナンス 臨床クライシスアセスメント、臨床クライシスマネージメント、臨床クライシスコミュニケーション、臨床クライシスガバナンス、事故調査、品質管理、ヒューマンファクターと安全工学、臨床コーチング、法行政学、医療 経済学、医療経営学、情報科学、行動科学、認知科学、疫学・統計、その他医療安全に関する演題

事前参加申込の期間: 2018年9月1日 ~2019年12月28日

事前申込参加費: 日本医療安全学会の学会員(9千円)、学部学生(4千円)、その他(1万2千円)

懇親会参加費: 5千円

第5回日本医療安全学会総会事務局

日本医療安全学会本部内

〒113-0033 東京都文京区本郷4-7-12-102

TEL/FAX: 03-3817-6770 Email: 5amt@jpscscs.org